

式 辞

令和二年度畿央大学卒業証書等授与式において、それぞれの証書を授与される卒業生、修了生の皆さん誠におめでとうございます。

また、これまで励まし支えてくださったご家族の皆様にもお祝いと感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

卒業される皆さんにとって一生の思い出となる式典は、新型コロナウイルスの感染拡大の防止のため全員が一堂に会して行う形では行えませんでした。皆さんのために心のこもった式となるよう教職員や関係者の皆さんにご尽力いただきましたことを、まず初めに厚く御礼申し上げます。

卒業される皆さんが入学されたころに持っておられた将来への夢は、その実現に向けて具体的になり、今日はその夢に向かって歩み出す出発の日となりました。在学期間中に夢の実現への道筋をつけることができたのは、これまでの皆さんの努力と研鑽によることは勿論ですが、先生方のご指導と職員の方々のご支援、そして切磋琢磨した学友の皆さんがいて、初めて達成できたことであることを深く心に刻んでいただきたいと思います。

さて、卒業される皆さんが歩み出される社会は、情報化社会からつぎの新しい社会、日本では Society5.0 と呼んでいます。新しい社会への大きな転換期にあります。新しい社会は、ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、バイオテクノロジー、仮想現実など多岐にわたる分野の新しい技術革新が、あらゆる産業や社会生活に取り入れられた社会です。数年ほど前から人工知能技術の進歩により社会の変化が顕著になっていましたが、昨年からの新型コロナウイルス感染拡大防止による、世界各国での政治経済体制の大混乱の中で、技術革新が加速され、社会距離確保のため社会生活もさらに大きく変化しました。

これからの一〇年の間に、地球環境や人類の存亡について、大きな選択の時を迎えるのではないかと予想されています。

このような大転換期にある社会に歩み出される卒業生の皆さんには、次のような三つの姿勢で新しい社会を歩んでいただきたいと思います。

- 一番目には、「生涯にわたり、学び続け、成長する」という、学びの姿勢です。
 - 二番目は、「他者を尊重し協働して社会の変化を乗り越える」という、社会の中で生きる姿勢です。
 - 三番目は、「人類の社会、日本の社会の維持・存続に関心を持ち参画する」という、地球規模のことに関心を持つ、知的存在としての人間としての姿勢です。
- これらについて、少し説明いたします。

第一番目の学びの姿勢は、「なぜ?」という疑問を大切に、「分かる」まで、探究する姿勢を、生涯持ち続けるということです。

皆さんは、本学において専門分野の知識と技術、さらに教養も含めた「知」を身に付けられましたが、強調しておきたいことが三つあります。

一つ目は、知識・技術を体系的な体系として捉える視点を持っていただきたいと思います。専門分野の知識内容は、相互に関連しています。知識内容の関連が分かると、その分野の専門知識を体系的に理解することができ、足りない部分やさらに追加が必要な拡

がりが見えてきます。他の人に、理解していることを説明できるようになります。次々と学ぶことが楽しくなります。知識・技術を体系的に把握できていることは、学習の基礎であり、出発点です。本学で学んだことを体系的な視点を意識して見直してください。

二つ目は、知識・技術を「学ぶ」姿勢について、「分かる」ということを重視していただきたいということです。知識や技術は、人類の文化の歴史の中で先人たちが見出し、形にしてきたことです。知識・技術を学ぶ際に、なぜそうなのかと考え、理解し身につけることが必要です。そのためには、この知識や技術は、「何なのか」という疑問を常に持ち、深く考え続けること、「哲学する」ということが重要です。

こういうことだったのかと、分かることは楽しいことです。そして、次のさらなる疑問に繋がっていきます。この繰り返しにより、知識・技術の「深い理解」を得ることができます。

体系的な理解の追求と、疑問を持ち続ける学びの姿勢は、建学の精神の一つである「知をみがく」ことの具体的な実践でもあります。

三つ目は、本学で学んだ知識・技術を大切にし、それらを基に、常に最新の知識と技術を身につけるように、「知」のアップデートを、心がけていただきたいということです。今後、仕事の中では、常に新しい情報を追加し、知識・技術の財産を増やしてください。それらを「成長する個人の知的財産」としてアップデートしながら大切に育ててください。

知識・技術の体系的把握、疑問を持つことによる「深い理解」、そして追加更新し続ける常に最新の知識と技術、これらを皆さんのお一人おひとりが持たれることが学びの姿勢として重要と考えます。

つぎに、第二番目の社会の中で生きる姿勢について述べます。コロナ禍の中で他者と距離を置かざるを得なくなったことで改めて他の人との繋がりを明確に気づけたのではないのでしょうか。社会はお互いにつながっている個人から成り立っています。親兄弟、家族、友人、知人、大学の教職員、地域の人たち、ネット上の知人などとの繋がりで。

身の回りの問題・課題を解決するときには、新しい解決策を見つけることや、お互いに納得できる答え見出し、お互いが納得できることが求められます。

これらのことは、論理的に考え、説明し、上手にコミュニケーションを行うことができれば可能となります。

解決策を導くには、考える筋道をちゃんと立てる必要があります。このときに、他の人も納得でき協働して進められる考え方は、一般的に「論理的な考え方」、「論理的思考」と言われています。

この論理的思考は、本学でのチームワークや関係者との協力が必要であった実習や演習、地域連携活動で培われたものをもとに、これからも意識して洗練してください。

この二番目の「他者を尊重し協働して社会の変化を乗り越える」という姿勢を保つことにより、社会の中で専門知識を活かし社会に貢献できる豊かな人生が期待できます。

最後に三番目は、知的な存在としての、人間の姿勢です。これは、人類の社会、日本の社会の維持・存続に関心を持ち参画するという、地球規模の課題に関心を持つということです。

目の前に見える空間の中のものだけでなく、時間の流れの中で、自分の存在について、どこから来たのか、どこへ行くのか、過去・現在・未来、これについて思いめぐらすことです。

目の前に具体的なものがないですから、想像すること、イメージを描くことが必要です。想像力は鍛えれば広がります。

宇宙の始まり、生命の誕生、人類の進化など、今まで先人が発見し蓄積した知的なことは、今では容易に知ることができます。世界各地の文化や芸術についても報道番組や、またネットを通してスマートフォンでも楽しむことができます。そこには美しく感動的な映像があります。人類が創造し蓄積してきた美しいものに触れ、自らもその創り手に加わってください。

さらに、人類の社会の持続にも関心を持ってください。人類の社会は地球上の自然環境を変化させることにより発展してきました。自然環境の変化や資源には限りがあること、経済格差の拡大や技術革新など、地域や地球規模の諸問題を自らの課題とすることです。

想像力をたくましくし、行動することにより人生を意義あるものにして下さい。

卒業される皆さんのお一人お一人が、卒業後も建学の精神を指針として「学び続け」、論理的思考を洗練し、人に感動を与えられる道を歩まれることを心から期待しております。

畿央大学が社会から評価を得られるのは、卒業生の皆さんの活躍、社会への貢献によるものです。皆さんが畿央大学の卒業生として誇りを持って国内で、そして国際的に活躍し、人が幸せに生きられる社会の持続的発展に貢献されることを重ねて期待いたします。

本日は誠におめでとうございます。

令和三年三月十六日

畿央大学 学長 冬木正彦